

ITP パートナー機関 タマサート大学

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科および東南アジア研究所では、これまでさまざまな形で、タマサート大学との交流を行ってきています。今回 I T P 事業では、インプットレベルの学生を派遣することとなっており、2008 年度には、2 名の方がタマサート大学でタイ語特別コースを受講しました。

タマサート大学教養学部タイ語特別コース

・基本的な研修内容

I T P では、タマサート大学教養学部タイ語学科に依頼して、I T P 派遣学生用の特別コースを設置していただいている。授業は、12 月はじめに開講され、1 日 3 時間×週 4 日間×4 週間×3 ヶ月間 (+study tour) となっています。基本的に初級者を対象とし、文字の書き方・読み方、発音、初級文法を学び、簡単な文章を読み、初歩の会話ができるように構成されています。最後は自らの研究テーマに応じた内容も学習できます。

・研修料について

1 コース (1 ~ 3 名) あたりの研修料になっていますので、受講生の人数により変動します。詳しくは I T P 事務局で確認してください。

・宿舎について

バンコク市内は多数の民間アパートがありますので、自分の希望にあうところを個々人で探してください。

・ヴィザについて

学生 visa の発行は、教養学部の下におかれ、シンガポールなどからの留学生受け入れ経験もある東南アジアプログラムの協力を仰いでいます。

・コンタクトパーソン等について

授業担当機関： タマサート大学教養学部

タイ語コース：タイ語学科

(連絡担当はランローン先生)

学生の受け入れ visa： タマサート大学教養学部 東南アジアプログラム

先生方はとても親切で、生活上のさまざまな側面も含めて、親身になって面倒をみてくださいます。今年度も、タイ語学習に強い意欲があり、努力を惜しまない受講生をお待ちしていますとのことです。

これまでもタマサート大学とは留学生の交換や拠点大学プログラムなど活発な学術交流が行われてきていますが、今後東南アジアプログラムとの連携など、ますます多様な交流活動が展開することが期待されます。